

イクメン生活始めませんか？

～子育てを「手伝う」から「ともに」する父親へ step up ～

思いどおりにいかないことも多い子育て。母親任せや“手伝う”という感覚になっていませんか？手伝うのではなく子育てのパートナーとして自ら進んで子どもと接することで、悩みや苦労を共有でき喜びは倍増します。何をすればいいのかわからないときは話し合い、困ったときは行政や職場などに相談することも一つの手段。今しかできないことを楽しみ、父親として子どもと一緒に成長しましょう。

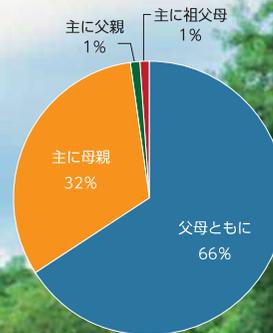
今号では男性の子育てについて紹介します。

■男女共同参画課（市男女共同参画センターぼぼらす内）☎23-8200

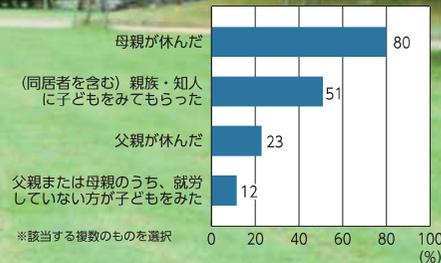
イクメンとは・・・子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性。または、将来そんな人生を送ろうと考えている男性のこと。



■子育てをしている状況（図1）



■子どもが病気などになったときの対応（図2）



市が平成30年度に実施した子育てに関するアンケート調査。

6割の夫婦が父母ともに子育てをしていると回答しています(図1)。しかし、子どもが病気などになったときの対応を見ると、父親より母親が休んだケースが3倍以上(図2)。

これを見ると、まだ母親が休むケースが多いことがわかります。

- 2 イクメン生活始めませんか？
- 8 いきいき健康
- 11 天草のキリシタン遺産
- 12 市職員の人数や給与などを公表
- 14 暮らしの情報
- 26 市民のひろば
- 28 みんなの広場
- 30 あまくさん“大脇 金継さん”
- 31 宝島のわだい
- 34 イベントカレンダー／天草の潮汐
- 35 休日在宅病・医院／水道修繕当番店
- 36 市民ふれあい座談会／花いっぱいコンクール



マチイロ



Facebook



Instagram

人のうごき 8月30日現在

8月中の異動		※()内は前月比	
人 口	80,003 (128減)	出生	35人
男	37,601 (57減)	死亡	118人
女	42,402 (71減)	転入	127人
世帯数	36,961 (25減)	転出	172人

問い合わせ先

本 庁	天草市役所 ☎23-1111 〒863-8631 天草市東浜町8番1号
支 所	牛 深☎73-2111・有 明☎53-1111 御所浦☎67-2111・倉 岳☎64-3111 栖 本☎66-3111・新 和☎46-2111 五 和☎32-1111・天 草☎42-1111 河 浦☎76-1111



岡部さんFamily

子育て・家事は 夫婦の共同作業

岡部 ^{だいき}大貴さん (34歳・福祉施設に勤務)
綾世 ^{あやせ}さん (33歳・医療機関に勤務)
菜 ^{さい}ちゃん (2歳11カ月)

子どもは仕事をがんばれる元気のもと
夫 子どものおもしろい言動や行動を見ることが楽しみの一つです。仕事の休憩中に妻が送ってくれた動画を見ると「がんばろう」と元気が出ます。
役割を決めない
夫 役割を決めてしまうとそれ以外ではなくなります。共働きだとできないときもあるのですが、できる方がする。ことにしています。
家族の時間を大切に
夫 交代勤務の仕事のためなかなか妻の休みと合いません。休みが合うときは必ず3人で過ごすようにしています。
これから家事を始める人にアドバイス
夫 朝は妻も忙しそうにしているので洗濯は助かると思います。わからないときは聞くことが一番です。
妻 やずてほしいと思ってるものがずれてくると困るので聞いてくれたら助かりますね。「やろう」という気持ちがあればいいです。
2人 繰り返し返すうちに聞かなくても自然にわかっていくとい

です。ね。
子どもが病気のときは男性も休みます
夫 子どもが病気のときは休みを取っています。ただ、その日の勤務体制次第で難しい日もあり、自然と妻が休みを取る回数が増えて申し訳ないです。
妻 私は大丈夫ですが、母親ばかり休みを取ると職場に申し訳ないなという気持ちになりますよ。ね。
2人 お互いに休みを取れないときは天草にいる両親を頼っています。
夫 結婚前は家事をしていなかったけど、子どもや妻のことを思うと自然にできるようになっていました。



和田さんFamily

皆さんに 支えられています

和田 ^{のりゆき}憲幸さん (36歳・支援学校勤務)
由夏 ^{ゆか}さん (30歳・現在育児中で
来年少し復帰予定)
紋京 ^{ぶんけい}くん (8カ月)



子育ては夫婦平等
夫 結婚前から子育ては夫婦で平等にするものだと思っていました。
がんばって産んでくれた妻の姿を見てその想いはより強くなりました。ね。
家事も積極的に
夫 基本的にできる方がしています。家事は元々好きで、妻が育児を取るまでは私の方が早く帰宅していたので夕食も作っていました。
まずは自分の身の回りのことを自分でやると、家族の負担を減らせると思いますよ。
行政サービスも利用
夫 妻が仕事復帰すると共働きになるので仕事と子育てをうまく両立できるかが心配です。
2人 近くに頼れる両親がいないので、お互いに仕事を調整したり行政サービスにも頼りたいと思っています。



職場環境も大切
夫 子育てをする男性が増えるためには職場環境も大切ですね。仕事によっては難しいかも知れないけど、社長や上司がリーダーとなって休暇取得を勧めてほしいですね。
子どもと過ごす時間を作る
夫 少しでも長く子どもとの時間を作りたいので、勤務時間内に仕事を終わらせて帰宅するようになっています。終わらないときは、翌日に朝早く出勤しています。休みが合うときは、家族で地域の子育て支援センターに行くと、他の家族と楽しく交流しています。



妻の出産時に数日休みを取りましたが、快く承諾してもらえました。

田口さん(天草設備株式会社)

県内第1号のよかボス事業所 天草設備株式会社

社内で、従業員が業務改善などを提案し発表するサークル活動を実施。業務マニュアルや現場のルールを作り、急な休みでも別の従業員が対応できる環境を整えています。

●本市のよかボス事業所

- ・天草設備株式会社
- ・天草ケーブルネットワーク株式会社
- ・まるきんユニテッド株式会社
- ・株式会社天草海鮮蔵
- ・池崎しょうゆ醸造元
- ・天草市起業創業・中小企業支援センター (Ama-biz)

よかボス企業の登録はこちら



よかボスとは、自ら仕事と生活の充実に取り組み、一緒に働く社員などの仕事と生活が充実するように応援するボス(企業の代表者など)のこと。名づけ親は本市出身の小山薫堂さん。
男性が子育てをする機会を増やすには、育児休業や子どもの看護休暇などが取得しやすい環境を整えることも一つの要素。
よかボスになって働きやすい職場を作りましょう。

みなさんの事業所も
よかボス宣言
しませんか？

〇県子ども未来課
☎096-333-2225



親子の交流や知識を学べる

地域子育て支援拠点事業

地域子育て支援センター

市内に10カ所ある「地域子育て支援センター」。育児相談や親子交流事業、子育てに必要な知識を学ぶ学習会など専門職員が子育てを支援しています。

利用者は母親が多く、親同士の交流や育児不安の解消などに役立てているそうです。父親も参加できるので遠慮せず利用してください。

■市内の地域子育て支援センター

- つどいの広場とことこ(丸尾町)
- 久玉保育園子育て支援センター(久玉町)
- ふたばこども館(旭町)
- 御所浦町子育て支援センター(御所浦町)
- わわわひろば(本渡町広瀬)
- 子育て支援センター「栖本」(栖本町)
- ひだまり(本渡町本渡)
- 子育てサークル「げんきぎざクラブ」(河浦町)
- かるがも(牛深町)
- 子育て支援センターつわの花(有明町)

☎子育て支援課 ☎27-5400

心肺蘇生法や薬の使い方などお父さんも知っておくべきことがあります。是非ご夫婦そろってご利用ください。

詳細はホームページをご覧ください↓



子育てサークル「げんきぎざクラブ」(河浦町・一町田保育園内) 栄養士 福島 円さん(右) 子育て支援員 倉田 千晴さん(左)

「聞きなっせ AI くまもとの子育て」

～パパもママも使ってみなっせ～

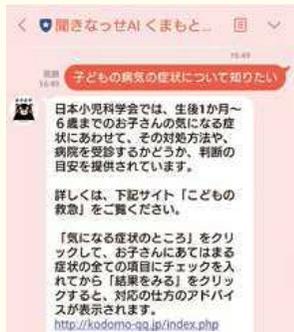
子育てをする中でこんな経験ありませんか？

- ・外出先でおむつを替えられる場所がわからない。
- ・夜中に子どもがぐったりしているけど病院に連れていった方がいいのか。

「聞きなっせ AI くまもとの子育て」は、子育てをする人を応援するために県や市町村、よかボス企業が連携・協力して作成したシステム。LINEの友だち登録をするだけで、就学未満の子育ての質問に24時間365日AIが答えてくれます。

授乳スペースがあったり子育て家族にお得なサービスなどを提供する「子育て応援のお店」も探せます。

☎県子ども未来課 ☎096-333-2225



登録はこちら →

今号の特集を担当した私も夫婦共働きで2歳の娘がいる父親です。子どもが小さいときは、夜中に何度も起きて寝不足になることもあります。私も妻も子どもが産まれてから仕事を両立することの大変さを痛感しています。家庭により状況が違うので、必ずしも「夫婦で半々」が最適とは限りません。普段から夫婦でよく話し合いお互いを理解し合うことで自分たちに合った分担ができ、母親も働きやすい環境になっていくのではないのでしょうか。登録会員に子どもを預けることができる“ファミリーサポートセンター事業”などのサービスをうまく活用しながら、無理をせず楽しく子育てしましょう。

悩みを相談 家族で交流

天草市産前産後サポート事業

ハハトコ

妊娠・出産・子育て中の人悩みや知りたい事を気軽に情報交換でき、仲間を作る交流の場になっている「ハハトコ」。市の産前産後サポート事業の委託を受けてNPO法人子育てネットワークわ・わ・わが実施しています。

パパも参加できるファミリーカフェ。この日は、赤ちゃんとのスキンシップや自宅でもできるベビーマッサージの方法をパパも楽しそうに学んでいました。4～5人のパパが参加することもあるようです。



▲本渡町広瀬にある「わわわのおうち」

ぜひパパも参加を

夫婦は子育てをするパートナー。お互いができないことを助け合うことが大切です。ここで得た情報を子育ての基礎知識として役立ててほしいです。



代表 澤田福美さん

みんなで輪になってスタート →



← パパも赤ちゃんとのスキンシップ

池田助産師の指導でわらべ歌を歌いながらのベビーマッサージ →



仕事は忙しいけど、もっと子どもとの時間を作れるようにがんばるよ。

こういう機会に子育ての技を学んでね。



初参加の杉原さん家族

優樹さん 由唯ちゃん(6カ月) 智世さん

10月の日程

いずれも前日までにお申込みを

*ファミリーカフェ ところ 河浦町河浦中央児童館

10月18日(金)10:00～12:00

だっこ・おんぶ体験と交流。助産師対応



参加無料

子ども連れOK

*マタニティサークル・カフェ ところ 河浦町河浦中央児童館

10月25日(金)10:00～13:00 10時からマタニティヨガ。12時からカフェ交流。助産師対応

*ツインズカフェ ところ わわわのおうち

10月19日(土)10:00～12:00 多胎児家族の交流会。助産師対応。

☎ 天草 NPO法人子育てネットワークわ・わ・わ ☎080-2741-6382